



2019年8月9日

各位

上場会社名 東邦亜鉛株式会社  
代表者 代表取締役社長 丸崎 公康  
(コード番号 5707)  
問合せ先責任者 経理部長 田邊 正樹  
(TEL 03-6212-1716)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月9日に公表した2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)及び2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想を、以下のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	51,500	400	600	△300	△22.09
今回修正予想(B)	49,200	△4,500	△4,250	△4,100	△301.95
増減額(B-A)	△2,300	△4,900	△4,850	△3,800	
増減率(%)	△4.5	—	—	—	
(参考) 前第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	58,482	△2,153	△1,928	△1,258	△92.70

2. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	106,000	4,600	4,600	3,000	220.94
今回修正予想(B)	99,000	△800	△700	△1,500	△110.47
増減額(B-A)	△7,000	△5,400	△5,300	△4,500	
増減率(%)	△6.6	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (2019年3月期)	117,551	531	969	△2,550	△187.82

3. 修正の理由

(第2四半期累計期間)

売上高は、金属相場下落やラスプ鉱山での高品位鉱採掘遅延などが想定されることから、前回公表値を下回る見込みです。利益につきましても、第1四半期において主に亜鉛相場が急速に下落したことで、製錬事業において多額の在庫評価損を計上したことや、非鉄スラグ製品の処理費用の計上等を反映し、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前回公表値に比して大幅減益となり赤字に転じる見込みです。

(通期)

下期は、製錬事業においては相場一定の前提のもとで在庫評価損益の計上はほとんど見込まず、資源事業においては上期遅延したラスプ鉱山の高品位鉱の採掘が進むことから、当初計画比若干の減益にとどまり、黒字を確保する見込みです。しかしながら、上期の赤字をカバーするまでには至らず、赤字幅は縮小するものの、通期でも当初公表値に比して売上高は減収、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益ともに大幅減益となり赤字に転じる見込みです。

なお、配当予想につきましては、今回は前回予想を据え置くことといたします。

(金属価格・為替の予想前提)

	前回公表			今回修正		
	上期	下期	通期	上期(予想)	下期(予想)	通期(予想)
亜鉛 LME(US\$/t)	2,700	2,700	2,700	2,580	2,400	2,490
鉛 LME(US\$/t)	2,000	2,000	2,000	1,950	2,000	1,975
銀 LDN(US\$/oz)	16.0	16.0	16.0	15.5	16.0	15.8
為替(¥/US\$)	109.00	109.00	109.00	109.50	109.00	109.25
為替(US\$/A\$)*	0.72	0.72	0.72	0.71	0.70	0.71

\*：豪州子会社の会計期間より、上期は1月～6月、下期は7月～12月、通期は1月～12月の為替相場を示します。

#### 4. 説明資料

「業績予想修正説明資料」を別途 TDnet 及び当社ホームページで開示しておりますのでご参照ください。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上